

八十二銀行による脱炭素への取組みについて

2023年3月14日

八十二銀行
中林 武

1. 当行の温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量

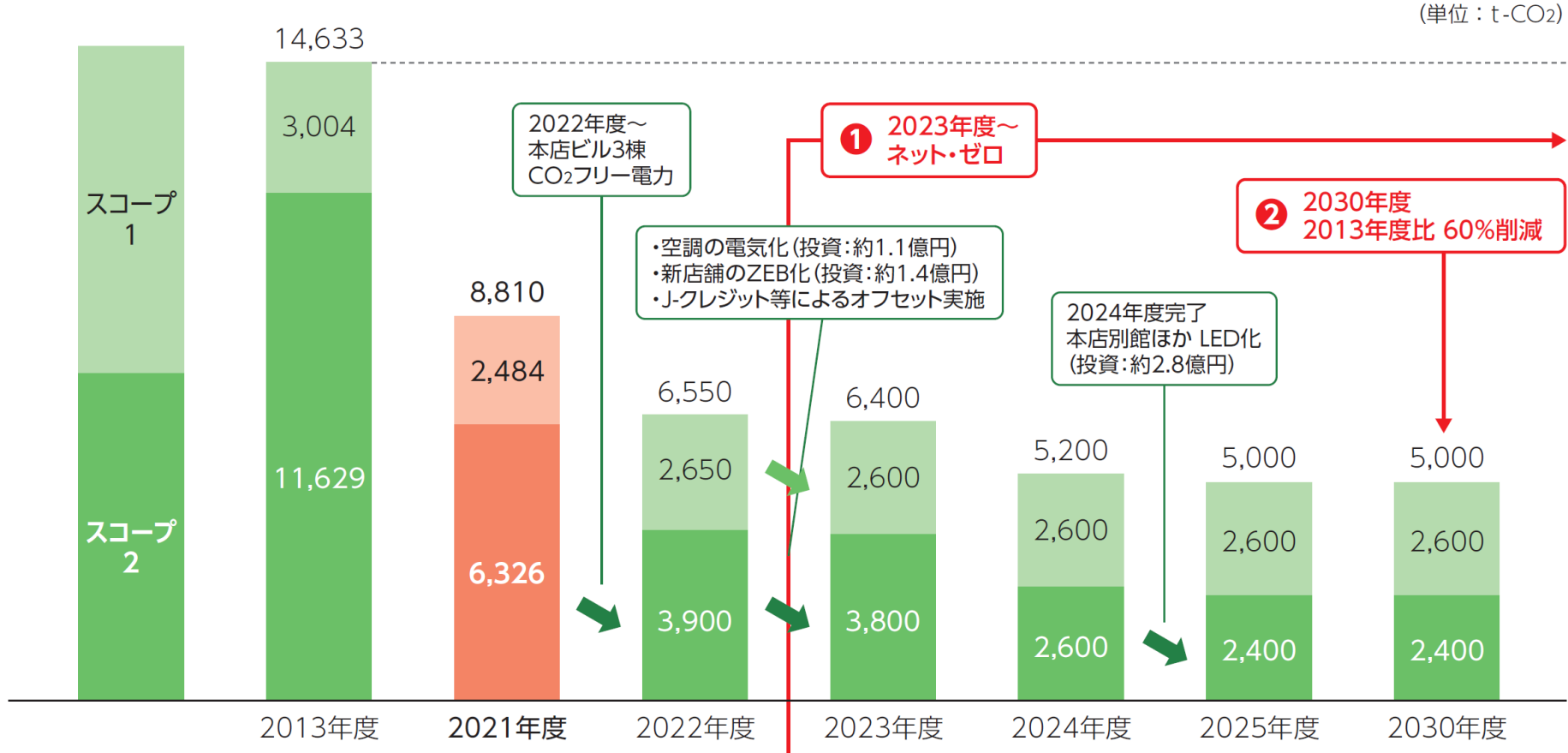
(単位: t-CO₂)

計測項目			2020年度	2021年度	
スコープ1	直接的エネルギー消費	重油、灯油、都市ガス、ガソリン、プロパンガス	2,689	2,484	
スコープ2	間接的エネルギー消費	電気	7,352	6,326	
スコープ3			13,315	19,149	
(サプライチェーンにおけるCO ₂ 排出量)	1	購入した製品・サービス	文具品・コピー用紙、上水道、下水道等	2,238	5,680
	2	資本財	当行全体建物、建物仮勘定、その他有形固定資産	5,426	7,987
	3	スコープ1・2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	重油、灯油、都市ガス、ガソリン、プロパンガス、電力	1,724	1,629
	4	輸送・配送(上流)	郵便費、輸送	1,849	1,949
	5	事業から出る廃棄物	廃棄物全般	123	71
	6	社員の移動に伴うエネルギー消費	出張	511	481
	7	雇用者の通勤	通勤	1,444	1,352
	15	投資	国内事業法人向け融資	—	35ページにて試算しています
合 計			23,356	27,959	

2. 当行の温室効果ガス排出量の削減目標と実績

- ①2023年度までにネット・ゼロ、②2030年度までに2013年度比60%削減を削減目標として取組む
- ②の目標は前倒しで達成見通し

当行温室効果ガス排出量の削減計画

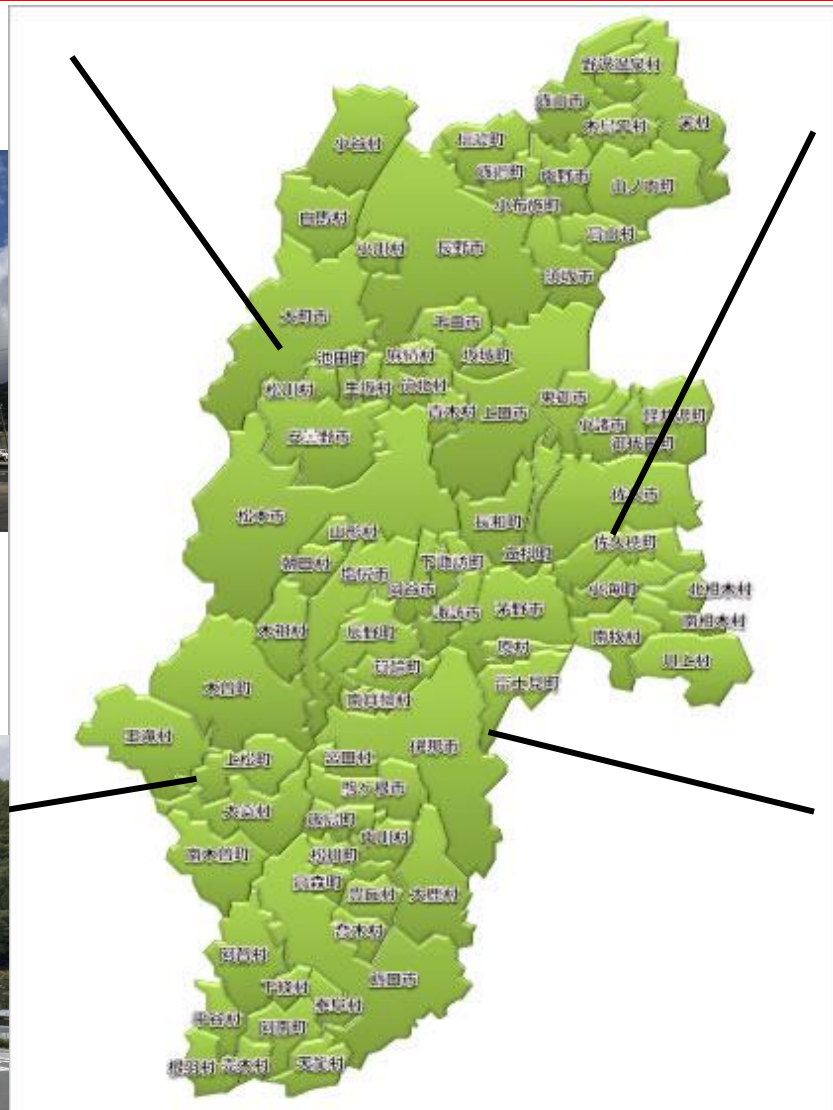


3.店舗のCO2削減に向けた「ZEB」店舗網の拡大

【2022年度】
大町支店（太陽光・地中熱）



【2022年度】
福島支店（太陽光）



【2021年度】
岩村田支店（太陽光）



【2022年度】
富士見支店（太陽光）



4.取組事例：ZEB店舗網の拡大

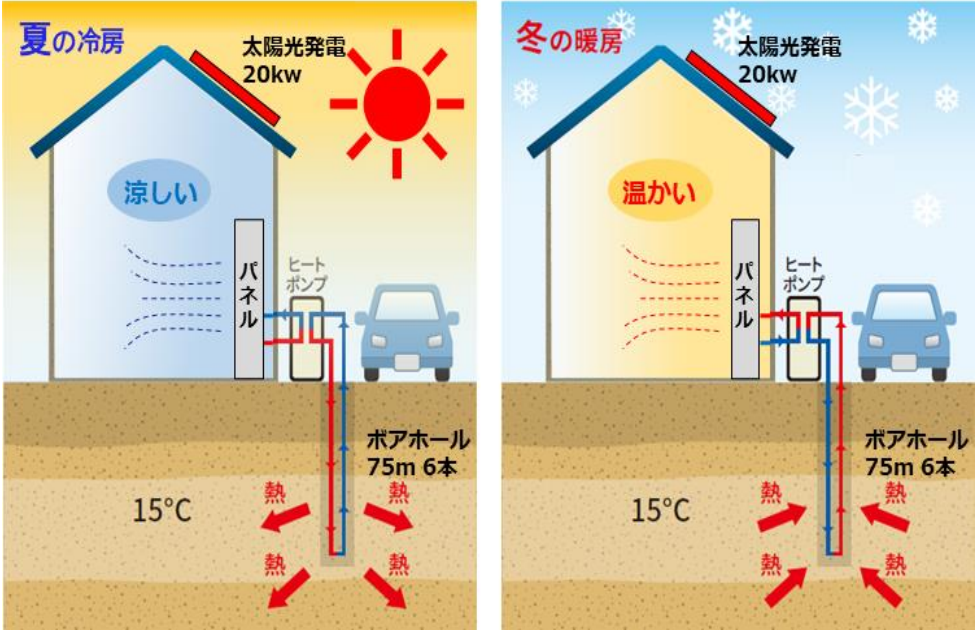
- 脱炭素社会の実現に向け、全県にZEB店舗網を拡大、2021年の岩村田支店に続き、富士見、大町、福島の各支店を『ZEB』※で建替え
- このうち、大町支店は地中熱を利用した冷暖房を導入し、太陽光発電だけに頼らない新たな試みを実施

※年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの建築物



＜大町支店＞
太陽光発電（降雪対策として架台を高く設置）

地中熱ヒートポンプシステム



出典：八十二銀行提供資料

5.お客さまとともに脱炭素化に向けた取組み

➡ お客さまとともに脱炭素化に向けた取組み

サステナブル投融資方針

サステナブルファイナンス目標

2021年度～2030年度(10年間)

▶ 累計1.5兆円(うち環境分野で1兆円)

2021年度実績:1,554億円(うち環境分野830億円)



サステナブルファイナンス専用新商品

専用商品を拡充し、再生可能エネルギー事業や脱炭素化に取り組む事業者さまを支援しています。

専門商品		特徴
2021年 7月～	SLL (サステナビリティ・リンク・ローン)	国際原則に適合したサステナビリティに関する野心的な挑戦目標の達成状況に応じて金利等の融資条件が変動
2022年 1月～	八十二サステナビリティ1号ファンド	新事業・新技術の創出に取り組む企業や後継者不在などの事業承継に課題を抱える企業のほか、再生可能エネルギー事業・脱炭素化を資本面からサポート
2022年 2月～	SDGsローン	お客さま自身が設定されたSDGsに関連する目標の達成状況に応じて金利が変動
	PIF (ポジティブ・インパクト・ファイナンス)	当行と当行グループの長野経済研究所がお客さまの環境・社会・経済に与えるインパクトを分析し、特定されたインパクトの増大と低減を支援

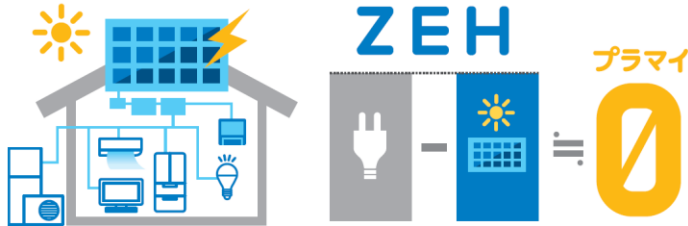
6.お客さまとともに脱炭素化に向けた取組み

◆ Topic 豊かなライフプランの実現をサポート

ZEH Thanksプレゼント

中期経営ビジョン2021では「サステナビリティ」を経営の根幹に位置付け、金融サービスを通じてお客さまのSDGsの取組みを後押ししています。2022年4月からZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）基準を満たす物件を対象とした住宅ローン等をご利用いただくお客さまに、スマートフォンアプリ「Wallet+」のポイント1,000円相当を進呈する「ZEH Thanksプレゼント」を開始しました。ZEH普及に取り組む住宅建築業者さまも応援します。

ゼッチ ZEHとは？



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称。
「高断熱+省エネ(高効率設備)+創エネ(太陽光発電等)」により、年間エネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した環境配慮型住宅です。

7.八十二Link Nagano株式会社の設立

2022年10月3日

各 位

株式会社八十二銀行

八十二Link Nagano 株式会社の設立について

八十二銀行（頭取 松下 正樹）は、2022年7月15日に公表いたしました「子会社の設立に関するお知らせ」につきまして、このたび関係当局の他業銀行業高度化等会社[※]の設立認可を取得し、当行全額出資により、本日「八十二Link Nagano 株式会社」（以下「当社」）を設立いたしました。

以下に当社の概要等をお知らせいたします。

※ 銀行法第16条の2第1項15号に規定された銀行の子会社

1. 設立目的・背景

当行は「中期経営ビジョン2021」において、『金融×非金融×リレーション』でお客さまと地域を支援する」を掲げ、お客さまのニーズや社会環境の変化に対応するためのビジネスモデルの変革に取り組んでおります。当社の設立はその一環として、地域商社事業と電力事業を開始いたします。

地域商社事業では海外販路開拓を中心としたお客さまの本業支援、電力事業ではお客さまや地域の脱炭素化支援を主な目的として、銀行本体では営むことができない事業領域において、お客さまや地域社会の課題解決のご支援を通じて、地域経済の持続的な発展や持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

非金融分野における新規事業領域へのチャレンジに加え、人事面においてもこれまでの子会社とは異なり代表者に若手行員を登用するほか、従業員の半数に女性を登用、銀行職務との兼業、外部人材の受入れ、などダイバーシティの観点から多様な働き方や人材活用にも積極的に取り組みます。こうした当社設立によるビジネスモデルの変革や人事面での新たな取組みを通じて、当行の人的資本経営の実現や組織風土の変革を加速させ、当行グループの持続的な成長や企業価値向上に努めてまいります。

2. 当社概要

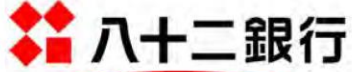
会 社 名	ハチジウリンク ナガノ 八十二Link Nagano株式会社
代 表 者	代表取締役社長 神谷 健一（八十二銀行企画部主任調査役兼任）
所 在 地	長野市大字中御所字岡田178番地8（八十二銀行本店ビル内）
資 本 金	1億円
株主構成	株式会社八十二銀行100%
事業内容	地域商社事業 電力事業 上記に付帯または関連する一切の業務
従 業 員	7名
設 立 日	2022年10月3日（月）

以 上

会社概要

項目	内容
会社名	八十二Link Nagano株式会社
代表者	代表取締役社長 神谷 健一
所在地	長野市大字中御所字岡田178番地8（八十二銀行本店ビル内）
資本金	1億円
株主構成	株式会社八十二銀行100%
事業内容 (予定も含む)	1. 地域商社事業：地域製品の販売・販路開拓および販売に関するワンストップ支援 (1) 販路開拓 (2) EC関連 (3) コンサルティング（マーケティング・ブランディング・プロモーション等） 2. 電力事業：再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の発電事業および供給 (1) 再エネの発電および供給 (2) 再エネに関連するコンサルティング 3. 上記に付帯または関連する一切の業務
従業員	7名（設立日時点）
設立日	2022年10月3日（月）

事業概要：全体イメージ



100%出資

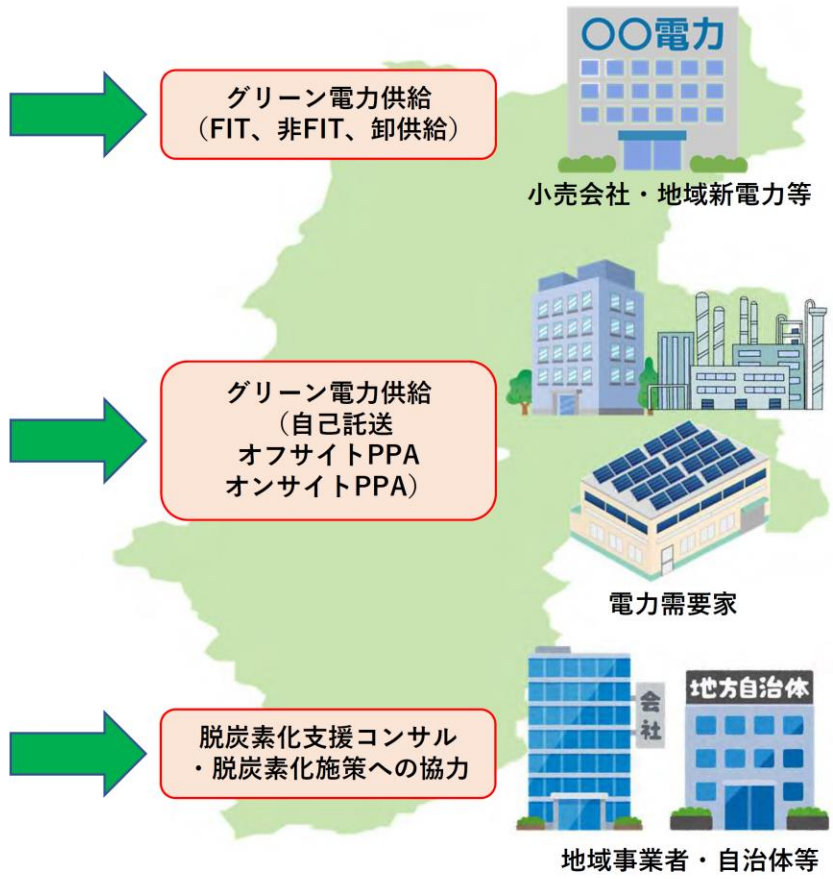
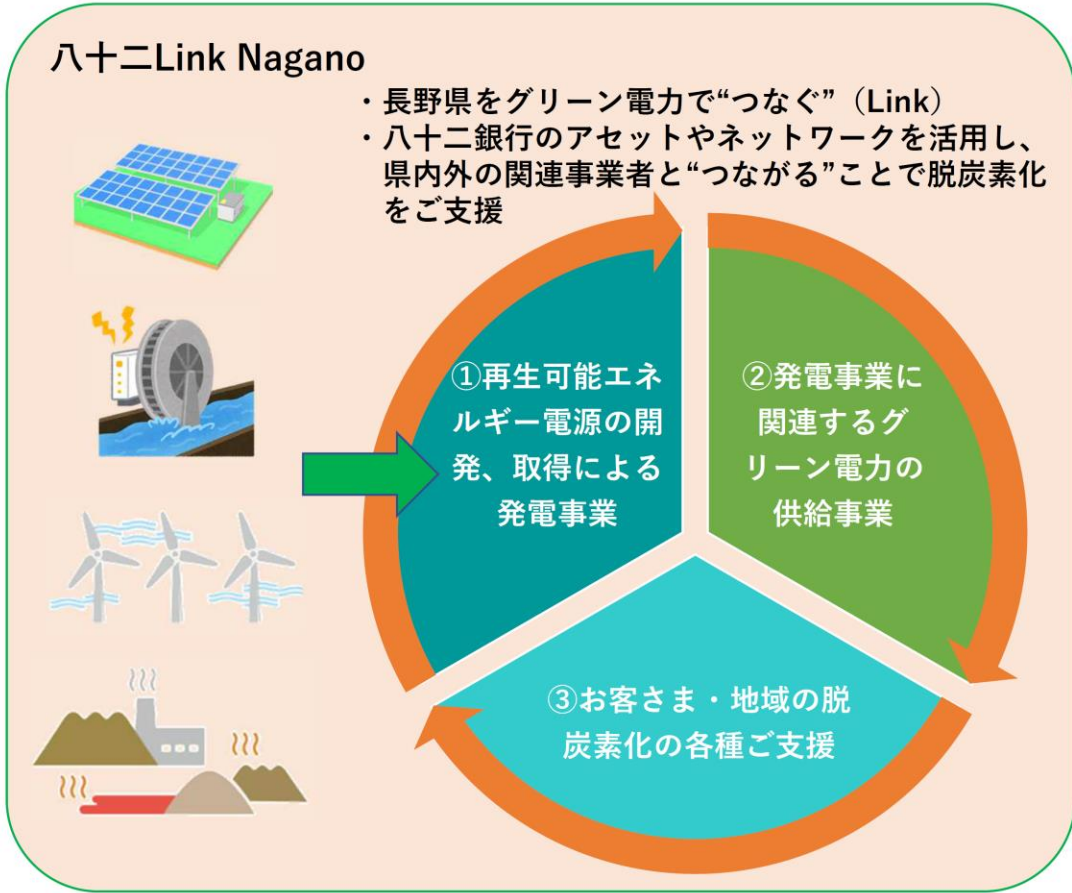


脱炭素化の促進による持続可能な社会の構築

八十二銀行グループのネットワークを活用した連携



事業概要：電力事業イメージ



【本資料に関する注意事項】

- 本資料は情報提供のみを目的としたものであり、融資の勧誘や特定の会社との取引を推奨することを目的として作成されたものではありません。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。
- 本資料に掲載されている意見は、発表者個人に属し、筆者が所属する組織の公式見解を示すものではありません。